

子どもの幸せを考えるすべての方へ

心によりそうということ Part 6

講演会



「不登校・ひきこもり 訪問支援からみえてきたこと」 ～ 子どもの心と生命を守る ～

平成24年から始めた「不登校・ひきこもりの子どもたちの心によりそう支援・援助」を考える講演会も6回目となりました。

子どもたちや若者を取り巻く環境は多様化しています。生き方も価値観も人それぞれに違います。正しい生き方、普通の生き方といったモデルがなくなっているのが現代と言えます。家庭環境やそれまでの学校や社会でのつまずき、また男女の違い等による固定観念にとらわれることなく、子どもや若者が、自らの生き方を決めて行動する過程に寄り添い、支援するのが周囲の大人の役目ではないでしょうか。

今回の講演では、長年、不登校、ひきこもり家庭への訪問支援（アウトリーチ）を続けてこられた講師に、若者の自立支援に関わりながら見えてきたこと、支援のあり方についてお話しいたします。ぜひこの機会に、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【講師】

谷口 仁史 氏 (たにぐち ひとし)



NHK プロフェッショナル仕事の流儀
第275回 2015年8月31日放送
「寄り添うのは、傷だらけの希望」出演

佐賀県武雄市出身。1976年生まれ。

- 特定非営利活動法人「NPO スチューデント・サポート・フェイス」代表理事
(子ども若者育成・子育て支援功労者表彰「内閣総理大臣表彰」受賞)
(公益財団法人社会貢献支援財団「平成26年社会貢献者表彰」受賞)
- さが若者サポートステーション総括コーディネーター
- 佐賀県子ども・若者総合相談センター長

佐賀大学文化教育学部卒業。在学中からボランティアで不登校、ニート等の状態にある子ども・若者へのアウトリーチ（訪問支援）に取り組む。卒業後、大学教授ら有志を募り「NPO スチューデント・サポート・フェイス（略称S.S.F.）」を設立。平成27年3月末日現在、委託事業を含む約16万6千件の相談活動、約1万4千件のアウトリーチに携わった他、市民活動団体を含む幅広い支援機関とのネットワークの構築や「職親制度」等社会的受け皿の創出、執筆や講演活動など多彩な活動を通じて、社会的孤立・排除を生まない支援体制の確立を目指している。近年はその実績が認められ公的委員を歴任。

翌日の17日は鳥取市で講演されます。「谷口氏研修会のお知らせ」



『生活困窮者自立相談支援セミナー』

日時 10月17日(月) PM 1:00~4:00
会場 鳥取県立福祉人材研修センター(鳥取市伏野 1729-5)
主催 鳥取県社会福祉協議会・鳥取県

※要申込み。詳しくは『鳥取県社会福祉協議会』ホームページ参照。

10/16(日)

PM 1:30~4:30

ふれあいの里 4F 中会議室

米子市錦町 1-139-3
(TEL 0859-23-5491)



事前予約はいりません。
どなたでも参加いただけます。
※参加費 200円



【主催】 不登校児童・生徒、ひきこもり青少年の親の会「つながろう会」

つながろう会 米子

検索

【お問い合わせ先】 つながろう会事務局 渡邊(090)-7374-0153

【後援】 鳥取県・鳥取県教育委員会・米子市・境港市・大山町・日吉津村・南部町・伯耆町・日野町・江府町・日南町
各教育委員会、鳥取県PTA協議会・鳥取県高等学校PTA連合会

